

【経緯】日本政府とASEAN各回国政府との共同事業として発足し、約50年の歴史のある事業

- ▶ 1974年の日本とASEAN各回国との共同声明を契機に、日本政府とASEAN各回国政府の共同事業として開始。
- ▶ 1974年（第1回）は、当時のASEAN加盟国の5か国（インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ）と日本の6か国で実施。その後、1985年にブルネイ、1996年にベトナム、1998年にラオス、ミャンマー、2000年にカンボジア、2026年に東ティモールが加入。

【概要】船内や寄港国での活動を通じて、国際化が進展する社会で指導性を發揮できるリーダーを育成する

- ▶ 「日本国内活動」、「船上活動」及び「寄港地活動」で構成。
- ▶ 日本及びASEAN諸国の青年が、船上や日本国内、寄港国において共同生活を行いながら、世界的な社会課題に関するディスカッションや文化交流、政府要人への表敬訪問、寄港国青年との交流、ホームステイなど各種の交流活動を行う。

プログラムの流れ（イメージ）

参加国：日本及びASEAN諸国（ブルネイ・ダルサラーム国、カンボジア王国、インドネシア共和国、ラオス人民民主共和国、マレーシア、ミャンマー連邦共和国、フィリピン共和国、シンガポール共和国、タイ王国、東ティモール民主共和国、ベトナム社会主義共和国）

参加青年：日本青年20名、ASEAN青年各16名（18歳～30歳） *令和7年度の東ティモールは6名

①日本国内活動（約10日間）

東京プログラム

参集式、総理表敬、御引見、課題別視察 等



総理表敬

地方プログラム

表敬訪問、ホームステイ、地元青年との交流活動 等



地方プログラムの様子

②船上活動（約30日間）

出航式

ディスカッション
文化交流
成果発表 等



ディスカッションの様子

寄港地活動（約5日間×2か国）

表敬訪問、ホームステイ
課題別視察、現地青年との交流活動等



ASEAN事務局視察の様子

【令和6年度】

参加国：日本及びASEAN諸国 *ミャンマーは不参加
本体プログラム : 11月4日～12月10日
日本国内活動 : 11月4日～6日、12月4日～10日
(地方：①奈良県、②高知県、③熊本県、④北九州市、⑤函館市)
寄港地活動（ベトナム） : 11月14日～17日
寄港地活動（インドネシア） : 11月21日～25日

【令和7年度（予定）】

参加国：日本及びASEAN諸国 *ミャンマーは不参加
本体プログラム : 1月15日～2月17日
日本国内活動 : 1月15日～1月24日
(地方：①岩手県、②千葉県、③富山県、④徳島県、⑤長崎県)
寄港地活動（シンガポール） : 2月4日～8日
寄港地活動（タイ） : 2月11日～17日